

立憲民主党は立川市議会議員選挙に向けて

原 ゆき

はら

さんを

予定候補者として公認決定へ

衆議院議員
長妻昭 秘書

ながつま あきら

子育て中
34歳

教員経験
9年

小学校教員

1児の母

教育から政治へ 一人ひとりの居場所作り

元教員、長妻昭衆議院議員元秘書、働くママの原ゆきと申します。

小学校の現場では、子どもの貧困・格差、障がいやマイノリティへの配慮を欠くなどの問題がありました。一人ひとりの努力では解決が難しい課題に向き合い、困っている声を議会に届けたいと思うようになりました。

長妻昭衆議院議員の秘書としては、現場の声を届けることでより良い政策に変えていくボトムアップの手法と政治姿勢を学びました。

また、現役子育てママ代表としても、地元立川に暮らす皆さまの声が届く「誰もが居場所のあるまち立川」を目指します。

Profile

1987年8月2日 立川相互病院で生まれる
しし座/B型

見影橋保育園/旧若葉小/立川九中/
錦城高校(野球部マネージャー)/
都留文科大学文学部初等教育学科
立川十小での教育実習を経て教職へ

2010年~小学校教員(羽村市、杉並区)

2019年~元厚生労働大臣長妻昭衆議院議員秘書
(在籍中に出産・職場復帰を経験)

▶夫、娘(1歳)と共に立川市幸町在住
現在、夢育て立川子ども21プラン推進会議委員
立憲民主党 立川市政策委員

立川の良いいところ & ご提案

立川の皆さんに聞きました!

原ゆきが目指す
もっと住みよいまち立川

いいところ
たくさん!

駅に出れば何でもそろう…駅ビル、商業施設、映画館

子育てで広場が地域ごとにあり、充実している

地域に 行政出張所を

定期検診や歯みがき・離乳食教室を健康会館のみでなく、自分の住んでいる地域の近くでできたらいいな。

公園新設 & 設備の充実

もともと基地拡張予定だった地域には公園が少ない! 北西部に新たな公園を! 既存の公園も遊具のさらなる充実・整備をしてほしい。

安全安心な 室内遊び場を

雨でも子どもたちがのびのび遊べる & 中高生の居場所

なんといっても国営昭和記念公園! …花火にプール、イベントもたくさん



豊かな自然が近くにある…公園たくさん、根川緑道、玉川上水など

行政サポート を使いやすく

予約がとりづらかったり、使い勝手が悪かったり。利用者の声を反映しよう。

エスカレーター のさらなる充実を

上りしかない箇所や工事中で使えないなど声が届いています。ベビーカーだけでなく身体の不自由な人にも生活の必需品です。

託児所つきの商業施設、美容院がある…とても助かる! そんな場所をもっと増えてほしい

立川を
もっと大好きな街に!



原ゆきが目指す「もっと住みよいまち立川」

原ゆきは、安心して子育てができる環境づくり、 教育現場の課題解決に全力を尽くします。

教育現場への支援

人と予算を 増やします

1.立川市独自の支援員制度で、 一人ひとりに行き届く教育を目指します

発達特性や、障がいのある子どもたちに寄り添う支援体制が不足しています。配慮が必要な子どもへの支援を位置づけ、多様性を認め合うインクルーシブ教育をすすめています。

2.ICT教育の充実を進めます

コロナ災害に伴いICT教育の導入が進む中で、不慣れな子どもたちや教員へのサポートが必要です。専門的な支援員の各校への配置、増員をすすめています。

※ICT教育とは…一言で言えば「教育のデジタル化」であり、パソコンや電子黒板、インターネットなどの情報通信技術を活用した教育のことです。

3.中学校の部活動等に地域の人材を活かします

子どもたちの望む部活動を継続するために、外部指導員をさらに充実させ、地域のスポーツや文化事業との連携を図ります。



元教員原ゆきの思い

道徳、外国語などの指導項目が増える一方で、教員数や予算は一向に変わりません。教員の多忙化に拍車をかけています。

必要な人の支援や予算配分を行うことで、先生方が笑顔で子どもと向き合える時間を増やしたいです。



ママ原ゆきの思い

コロナ以降、大きく環境が変わり、孤独や孤立、不安を多くの人が抱えています。今まで以上の情報提供、繋がるための応援体制が必要です。

子どもたちの未来のためにも、今自分のできることをしたいと市政挑戦への思いが強くなりました。

「夢育て・たちかわ子ども21プラン」推進委員として協議会に参加する中で、子育てパパママを応援する計画に共感し、実現させたいと思いました。

子育て中のリアルな声が市政に反映されるよう、皆さまの声を丁寧に聞いてまいります。



安心して子育てができる環境づくり

1.いつでも入れる保育所・学童…待機児童の解消

2.一時預かり保育やファミリーサポート制度の改善・拡充

3.出産費用の助成など子育て世代への支援の拡充

4.子育て広場のポータルサイトづくり

各子育て広場ごとの情報ページを一つにまとめて、各所のイベントを素早くチェック

5.コロナ関係で中止になっている様々な親子教室のオンライン実施、資料の提供

6.地域福祉計画によるアンテナショップの各地域への設置

7.ボールや遊具でのびのび遊べる公園の新設

8.妊婦や赤ちゃん連れにも配慮された避難所計画

多様な人が参加できる市議会へ

子育てママ を議会へ

1.市役所内に託児室の設置

2.市民に開かれた市議会…傍聴者やライブ視聴者への 資料提供

3.市民の声を反映するための市民と議員の 意見交換会の活性化

4.市議会にも子育て女性の視点を



議員を目指す原ゆきの思い

現在女性議員は議席の4分の1…28名中、7名しかいません。その内、小中学生以下の小さい子どもを育てるママ議員は一人もいないのです。

市民サイドでは、子育て中の女性が市政に参加しやすい環境整備となっていません。子育てママの視点を市議会に活かし、子育て・子育てしやすいまちづくりをすすめています。

原ゆきの活動内容は随時SNSでも発信しております!情報の共有にもお役立てください。



現在、ボランティアスタッフを募集しています!
ぜひ私たちと一緒に、より良い立川市を目指しませんか?